

効果的な取組のポイント(保護者への働きかけ)

「小学校に入学して勉強はついていけるだろうか、友達にいじめられないだろうか、先生はうちの子をちゃんと理解してくれるだろうか」など相談できる人がいないまま、たくさんの不安を一人で抱えこんでいる保護者が増えている。



一方、早寝早起き、毎日の朝食など基本的な生活習慣を身につけないうまま入学を迎えようとする子どもも少なくない。最近、保護者の就労形態や家族の在り方が変化し、地域の結びつきも希薄になる中で、子育てが孤立する傾向にあることを考えると、今まで以上に子育て支援が小学校にも求められる時代になりつつある。

(1) 入学説明会で小学校を保護者の身近に

- ① 入学に際しての心構えや具体的な準備物をまとめた冊子等は、ほとんどの学校ですでに作成されているが、保護者や子どもの側に立った内容になっているか再度点検する必要がある。
- ② 入学説明会に子育て講演会や体験入学も合わせて実施する学校も増えてきた。入学説明会は、入学に際して親も子も期待がもてるような楽しい雰囲気になるように工夫して、小学校が身近な存在になるようにすることが大切である。



(2) 保護者アンケート&子育て支援

- ① 幼稚園の教員は、毎日の子どもの送迎時に保護者と話す機会が多く、それを生かして子育ての悩みなどを一緒になって考えるという姿勢ができています。保護者の中には、こういう機会が小学校で少なくなることに不安を抱く人もいます。
- ② 保護者アンケートは、保護者の声に耳を傾ける有効な一つ的手段である。相互理解は双方向でなければならない。学校を分かってもらう為の一方的な説明だけでなく、子どもや家庭を事前に理解するような努力も必要である。
- ③ 日頃から子育て支援を積極的に行うことは、問題が起こってからでの対処療法より効果的である。事例のようにアンケートや子育て講演会などを実施して、一緒になって子育てを考えようとする姿勢が大切である。

(3) 幼稚園等施設から子育て支援を学ぶ

前述のように新1年生の保護者は、小学校の保護者対応に少なからず不安を抱いている。システムの違いもあってやむを得ないが、学校における教育内容等の相互理解だけでなく、保護者へのかかわり方なども幼保小で情報交換して学びあう事が、その不安の軽減につながると考えられる。

